

事業所自己評価シート

保護者による評価

A環境面

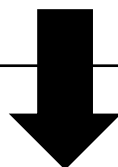
- ・（児発）現状は充分だが、子供が成長したり、日によって人数が多い時は狭く感じる事が懸念される
 - ・（放デイ）ビルの入口等に段差や階段が多い
 - ・（放デイ）人数が増え、狭すぎると思います
- ※時間分けして細やかに工夫しています。
- ・（放デイ）たくさんの目と手と心で見えています
 - ・（放デイ）現在支援をしている職員には丁寧な支援をしてもらい感謝している。ご家庭の事情など職員の異動や交代があった場合は子どもの様子の引継ぎをしっかりとお願いできると安心です。

B児童への支援内容

- ・（児発）発語を促すトレーニングとして、どのような内容で実践しているのか詳しく知りたい
- ・（児発）自宅で出来るものがあれば保護者にも共有してほしい
- ・（児発）当教室以外の交流は特に必要性を感じていない
- ・（放デイ）通っている学校に近い学童を教えてもらえて、こうした情報をもたらえて嬉しいです
- ・（放デイ）支援して頂いている先生方に不満は無く、いつも丁寧な対応ありがとうございます。

C事業所からの情報発信

- ・（児発）毎回、療育後のフィードバックをしてもらっている。相談したいときに都度アドバイスをもらっている
- ・（児発）他の保護者の方へのフィードバックは細かくしていたのに、我が子には「出来た・出来ない」がメインなので、もっと細かい内容を、小さい内容でも、気づいた事、感じた事を教えて欲しいです
- ・（児発）他事業所でみた面談の申込の方法が、面談シート（希望日時、氏名等を記入するもの）があり、自由に取りやすい場所であり、面談を申込にくい人にとって良いと思った。



事業所内での分析

【共通点】

- ・子供の通っている園や学校に訪問し、現場の先生方・保護者との情報共有が出来ている。
- ・室内が狭く、子供の多い日には窮屈に感じる。学習スペースと遊びのスペースに分けることが難しい。
- ・設備が古くて段差が多い。特にトイレの段差が大きく危険。職員が手洗い時に付き添うようにしているが、それでも躓いてしまう子がいる。
- ・職員の入れ替わりがあった場合、職員同士・保護者との情報共有が難しい。
- ・職いんの配置はよいが、一度に療育後のフィードバック・相談に丁寧に対応することが難しい。保護者・子供の必要としている支援を行うことが難しい。
- ・全体で揃う機会がない為、ミーティング・役割分担することが難しい。
- ・PDCAサイクル（見直し）はなかなか出来ていない。
- ・支援に必要なスキルや研修、スキルアップに必要な研修がない。研修を受ける時間や機会がない。

【相違点】

- ・面談や相談を常時出来るように枠を作っているが、枠がない方が相談しやすいとの意見が出たので今後検討していきたい。
- ・発達検査を行う機会が少ない。もう少し子供に対して発達検査を行う機会が増えればよい。
- ・新入社員にはまず現場に慣れてもらえるように温かく見守る姿勢でいる。また、慣れてきたら少しずつ仕事をお任せしている。

分析・検討してみた

事業所の強み

- ・園訪問、学校訪問を積極的にしている。
- ・園や学校の先生方と情報共有をしている。
- ・保護者に対して求められている内容を返せるように努力している。
- ・個人の課題や年齢、学年を踏まえて学習の課題を作っている。
- ・保護者の声をその場で聞けるように努力している。

事業所の改善点

- ・施設が古い為、段差や水廻りなど要注意な場所がある。
- ・仕事の負荷をなるべく平等にする。
- ・職員同士の情報共有をする時間を作る。

事業所の改善への取り組み

- ・ 仕事内容に慣れてきたら、仕事の負荷や効率を考えて役割分担を行う。
- ・ 時間が取れるようになれば、全体で集まってミーティングを行い、情報共有を行う。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・ 保護者が気にしていること、希望していることを知ることが出来て良かったです。それらの意見を踏まえて改善していける部分は改善していきたいと思います。
- ・ 事業所として気を付けていること、努力していることを保護者方も評価してくださり、とてもうれしく思っております。